

年頭所感（山口経済レポート）

日本銀行下関支店長 重本 浩志

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

旧年中は日本銀行下関支店の業務に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の山口県経済は、景気の持ち直しを粘り腰で維持できました。個人消費は、感染者増や、物価上昇に伴う生活防衛の動きも見られました。ただ、行動制限のない中、イベント再開の動き、県民割等各種支援策も相俟って人出の回復が続き、個人の宿泊・飲食等は復調、全体として緩やかに持ち直しています。製造業は、円安もあり原材料高が加速しましたが、高い品質・競争力を背景に価格転嫁を相応に進め、生産・輸出の持ち直し基調、高い収益と高水準の投資を維持しています。

本年も、こうした対応に加え、人口減少、デジタル化、気候変動への対応といったチャレンジも引き続き必要です。

こうした取組みを通じ山口県経済が更に発展し、本年が皆様にとって実り多い1年となるよう心より祈念致します。